



多文化共生の視点で考える 国籍を超えた若者の「理想のまち」提案発表会

2月11日(水)福岡県立少年自然の家「玄海の家」で、市内の中高生と海外大学生など計33人が参加する「世界で最も〇〇なまち 提案発表会」を開催します。

日本では外国人の人口が、2070年には約939万人と2020年比で3.1倍(総人口の10.8%)に増加すると予想されており、多様な文化や価値観が共に暮らす「多文化共生」が喫緊の課題となっています。

本事業では、この課題を背景に実施するもので、中高生、留学経験のある大学生、日本に滞在中の海外の学生が交流し、「理想のまち」をテーマに互いの暮らすまちや、多文化共生の実例、課題を共有し、まちの姿を考えるワークショップを行います。ワークショップ後はまちづくりを担当する市職員に向け、若者ならではの視点で描いた提案を発表します。



《宗像を訪れている海外学生》

【世界で最も〇〇なまち 提案発表会 概要】

日 時: 2月11日(水・祝) 14:30~15:00

場 所: 福岡県立少年自然の家「玄海の家」(宗像市神湊 1276)

内 容: 「理想のまち」をテーマにしたグループ提案の発表(全員で発表)

出 席: 中高生 21人、海外大学生等 12人

(アメリカ、インド、ミャンマー、フィリピン、カメルーン、パナマ、ポーランド)

【補足】

本事業は、宗像市のキャリア教育事業「おなかた子ども大学 Global Camp コース」の一環として実施するものです。

本市でも、外国籍住民が1,000人を超え、多様な文化や価値観が地域に共存しています。「理想のまち」という共通テーマのもとで意見を出し合い、互いの違いを前向きに受け止める力や、将来の社会を考える視点を育みます。

【問い合わせ先】※ご取材いただける場合は、事前にご連絡ください

宗像市地域教育連携室 担当: 占部 TEL:0940-36-1169